

2019年度放課後等デイサービス 自己評価及び分析と改善

チェック項目	千葉県									
	木更津つばめ園			木更津第二つばめ園			印西牧の原園			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	はい	どちらとも いえない	いいえ	はい	どちらとも いえない	いいえ	
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練等スペースとの関係で適切であるか	6	0	0	8	0	0	6	0	0
	2 職員の配置数は適切であるか	5	1	0	8	0	0	3	3	0
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	1	3	3	4	1	5	1	0
	分析	・つばめ園と第二つばめ園については一軒家なので一部段差のあるスペースがありますが療育に問題ない環境になっています。しかしながらつばめ園においては階段があります。								
環境・体制整備に関する改善方針	・環境については整理、整頓に心掛けます。 ・修理等が必要な場合は適宜対応をします。 ・階段の昇り降りについては職員のサポート体制を強化していきます。									
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広職員が参加しているか	6	0	0	8	0	0	6	0	0
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	0	0	8	0	0	6	0	0
	6 自己評価の結果を、事業所の表紙やホームページ等で公開しているか	3	2	1	7	0	1	5	1	0
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	2	2	5	1	2	2	4	0
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	0	0	7	0	0	3	2	1	
分析	・HPに自己評価の結果を公表している事を知らない職員がいます。 ・組織の中で信頼性保証室による評価を行っているが理解出来ていない職員がいます。									
業務改善に関する改善方針	・東京都働き方改革宣言企業として認定されています。 ・福祉のTOKYO働きやすい職場宣言企業とあて認定されています。 ・パート職員に対して環境整備に関する説明会を実施します。									
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を実施しているか	6	0	0	6	1	0	5	1	0
	10 子どもへの対応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	0	0	6	1	0	3	3	0
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	0	0	6	1	0	4	1	1
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	1	0	8	2	0	4	1	1
13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	5	1	0	8	0	0	3	2	1	
14 子どもに状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	0	6	2	0	3	2	1	
15 支援開始前には必ず打ち合わせをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	0	0	8	0	0	3	2	0	
16 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか	4	2	0	6	1	1	6	0	0	
17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	0	0	7	1	0	6	0	0	
18 定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	0	0	7	0	1	4	2	0	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	6	0	0	8	0	0	3	3	0	
分析	・役割分担について確認をしているが一部の職員で確認できていません。 ・コミュニケーションが不足していると考えられます。									
業務改善に関する改善方針	・パート職員を含めた定例会議の実施する。 ・業務連絡ノート等の導入し、週1~2回出社するパート職員に対して情報共有を行う。									
関係機関との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	4	0	2	6	1	0	3	3	0
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の調整等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に実施する必要がある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	3	1	7	0	0	2	3	1
	22 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	3	0	8	0	0	1	4	1
	23 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	1	2	6	1	1	3	3	0
24 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6	0	0	7	1	0	0	5	1	
25 「地域自立支援」協議会等へ積極的に参加しているか	4	2	0	6	1	1	0	4	2	
26 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	0	0	8	0	0	6	0	0	
27 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	2	2	5	3	0	0	6	0	
分析	・関係機関との連携が進んでいない状況と言えます。									
業務改善に関する改善方針	・法人内に学童保育施設とありますので、交流を図っていきます。 ・相談支援事業所との連携をさらに強化していきます。									
保護者への説明責任等	30 運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	0	0	8	0	0	6	0	0
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	0	0	8	0	0	6	0	0
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	2	2	7	1	0	1	3	2
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	0	0	8	0	0	6	0	0
34 定期的にアンケートを発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	0	0	7	1	0	6	0	0	
35 個人情報に十分注意しているか	6	0	0	8	0	0	6	0	0	
36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	0	0	8	0	0	6	0	0	
37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	2	2	5	2	1	1	3	2	
分析	・今期父母会の開催が行われませんでした。 ・地域の祭事「やっさいもっさい」に継続して参加しています。									
業務改善に関する改善方針	・放課後子ども教室「ハックルベリー」との連携を進めていきます。 ・地域の祭事「やっさいもっさい」に今後も参加していきます。 ・父母会を実施します。 ・八王子市民協働協議会「ゆめおりファンド」情報開示の認証基準に3年連続達成しているのを継続し、職員に周知を図ります。									
非常時の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	0	0	7	1	0	6	0	0
	39 非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	0	0	8	0	0	5	1	0
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	0	0	8	0	0	5	1	0
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6	0	0	8	0	0	5	1	0
42 長期アレルキーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	0	0	7	1	0	6	0	0	
43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	0	0	8	0	0	5	1	0	
分析	・避難訓練等を毎月実施しています。・虐待防止に関しては、毎月チェックリストで確認をしています。ヒヤリハット事例集を作成してリスク管理委員会にて、月に1回全園でリスク委員会を開催しヒヤリハット情報を取りまとめて、共有をしています。概ね、リスク管理対応については周知できていると考えます。									
業務改善に関する改善方針	・リスク管理委員会の内容をパート職員に対してフィードバックの徹底を行います。身体拘									

